

< 基調講演演者紹介 >

橋本俊詔・京都大学名誉教授、京都女子大学客員教授

1943 年生まれ、元同志社大学経済学部特別客員教授

(研究領域) 労働経済学

(主な著書・論文)

『格差社会 何が問題なのか』(岩波新書 2006 年)

『早稲田と慶応 名門私大の栄光と影』(講談社現代新書 2008 年)

『日本の教育格差』(岩波新書 2010 年)

『京都三大学 京大・同志社・立命館 東大・早慶への対抗』(岩波書店、2011 年)

『スポーツの世界は学歴社会』(齋藤隆志共著、PHP 新書、2012 年)

『経済学部タチバナキ教授が見たニッポンの大学教授と大学生』(東洋経済新報社、2015 年)

『プロ野球の経済学』(東洋経済新報社、2016 年)

『新しい幸福論』(岩波新書、2016 年)

(社会的活動)

日本経済学会会長 (2005 年 4 月 - 2006 年 3 月)

日本学術会議会員 (2005 年 10 月 - 2011 年 9 月)



< 報告・発表の概要 >

行政説明：「今年度の大学スポーツ振興事業および来年度の概算要求について」

(仙台光仁・スポーツ庁参事官 (地域振興担当))

2017 年度事業のスポーツアドミニストレーター配置事業、学産官連携協議会の状況、2018 年度の概算要求について

事例報告：大学スポーツ推進に向けた関西地区の動向

(大学スポーツ振興関西地区検討会)

大学スポーツ振興関西地区検討会の活動状況と「大学スポーツ推進コンソーシアム in Kansai (仮称)」(2018 年 3 月スタート予定) の概要について紹介する。

報告 1：大学スポーツ推進の国内と海外の動向 (小林勝法・文教大学教授)

JSC のデュアルキャリア支援事業や各地区の検討会、大学スポーツマネジメント研究会などの国内の動向と国際大学スポーツ連盟 (FISU) が推進している事業やその加盟国の動向を紹介する。

報告 2：全国大学体育連合の大学スポーツ推進事業 (長倉富貴・山梨学院大学准教授)

大体連のスポーツ局長協議会や大学スポーツ国際デー記念シンポジウム、各種アンケート、大体連のスポーツアドミニストレーター配置実証研究について報告する。また、今年度準備をすすめている大学スポーツ推進校認定制度と観戦者を増やす取り組み促進事業について紹介する。

以上